

公立保育所再配置計画たたき台に対するグループ討議内容

【3/12 富津地区】

A グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・ 3歳未満児の受入れと多様化するニーズに対応することを目的としたたたき台であり、たたき台の基本方針には賛同する。・ 小規模保育所の誘致場所の具体案はあるのか？・ 多様化するニーズに対応するために、飯野保育所、富津保育園、青堀保育園の特色（保育目標や保育方針など）を打ち出すのか？・ 企業内保育所との連携は考えているか？・ 潜在保育士の活用が必要と考える。

B グループ

意見
<ul style="list-style-type: none">・ 子どもの減少から仕方ない。未来がどうなるのだろうか？という不安はある。・ 自分の子どもが利用している保育所では、来年年長児が4人になる予定。友達が少ないとかわいそう。友達が増えることが良い。・ 集団で育てたいという考えがあるが、身近にあった方が良い。・ 飯野保育所を民間が受けてくれるかがポイント。・ どこも公立保育所は、この先は民間になるのか、受け手がいれば民間になるだろうが、不明。・ 保育士の数が問題。・ 離職率が高いのはなぜ？⇒結婚、子育て。勤務の大変さや重圧がある。・ 若手育成に一生懸命取り組み、離職を防ぐ。・ 職場環境の改善が必要。・ 保育士確保として、市が民間の処遇改善を。・ 幼稚園が認定を受けこども園となり、0.1.2歳児を受け入れるとあるが、0歳児の受入れは難しい。免許も幼保必要。・ 小規模保育園は経営者がいるのか？

- ・ 0～2 歳を保育して、3 歳への引継ぎをどうするのか？
- ・ 移行期の子どもへの配慮が必要。
- ・ 未移行の幼稚園の意向は確認しているのか？
- ・ 未満児のニーズが増えているのではないか。
- ・ 宅地造成されており、子どもも増えている。保育士の確保が問題。1つの施設で小学校まで行ければ一番良いので、検討の余地が富津地区にはある。
- ・ 1,2 歳児はバスに乗せられない。それによる弊害がある。

C グループ

意 見

- ・ 小規模保育園の設置場所は連携の取りやすい場、利用しやすい場にしてもらいたい。
- ・ 小規模保育園を公募して民間での設置ができなかった場合、公立でやってほしい。
- ・ 計画通りに移行されることを希望するが、保育士の確保がしっかりできるのか？
- ・ 飯野保育所と青堀保育園、2つ同時に公募をかけていくことは出来ないのか？
- ・ イオンの空きスペースを小規模保育園として利用できないか？
- ・ 未移行幼稚園は子ども園への移行を予定しているのか？

※意見に対する市の考えや質問への回答は改めて作成します。